

## 東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会の懇談要旨（報告）

### 【医療関係】

- ・残念ながら県の壁が存在しているように感じる。老々介護など圏域社会の高齢化に対応していくためにも、こうした壁を乗り越えて協力できるようにしていきたい。

### 【企業誘致関係】

- ・若者の創業支援や援助なども企業誘致とは言わないが、圏域内に事業者を増やす方向になるのではないかと思う。

### 【産業振興】

- ・今年制作したポスターの発想は非常に良い。
- ・圏域の共通項として儒学をテーマにした観光や交流を海外などへのPRも視野に入れて展開できないか。

### 【情報通信】

- ・圏域での取り組みが見えるものになってきたと思うので、PR不足を解消していくように圏域内の事業広報に力を入れてみてはどうか。

### 【交通関係】

- ・圏域バスの運行はとてもありがたい。今後、高齢者にとって非常に重要な移動手段になると思います。運行に携わる方々にこれからも頑張ってもらいたい。
- ・圏域バスの運行ルートについて、延長やルート変更の検討も含め、住民の立場で幅広く考えていただきたい。
- ・報告数値から利用者は運行開始時から減っていないが、増えているとも言えない状態だと読み取れる。使ってもらえるようにバス利用の促進をもっと工夫していく必要を感じる。
- ・バス利用者から赤穂駅には乗り入れないのかと聞くこともあり、山陽本線と赤穂線を結ぶような交通手段を検討してみてはどうか。

### 【文化・スポーツ】

- ・若者が圏域外にでていても伝統的な祭りなど熱くなれるものがあれば地元に戻ってくる様子が見受けられる。こうした熱くなれるようなものを創ることを検討してみることにも一考ではないか。
- ・スポーツや文化面で夢と感動を与えることができる取組みを圏域の特徴としてさらに取り組んでみるのはどうか。

### 【鳥獣被害対策】

- ・圏域で狩猟者の育成に取り組んでいく必要がある。場合によっては、専任の狩猟者を設置することなども一考する価値があるのではないかと思う。

## 【その他】

- ・次期ビジョンに子供の成長に関わる事業を入れ込むことを検討していただきたい。
- ・全体の費用対効果を明らかにしていく必要がある時期にきていると思う。何か全体が見える一覧表のようなものを作成して、事業の見直しや移行を行うようにして、継続性や大きな方向性を協議するような管理方法も検討していくべきではないか。

## 《アドバイザーのコメント》

- ・圏域で安心して暮らすためには、「医療分野の充実」は欠かせない。出産支援などを含め、今後もしっかりと取組みや連携を一体感を持って実施していくべきである。
- ・雇用、「働く場の創出」が重要。そう意味でいけば、地元の地域資源や地場産業に磨きをかけることが原点となるのではないかと思う。
- ・PRについて、まだまだ取組み自体が、一般市民に浸透していないと思われる。ポータルサイト「ともりんく」の活用などを通じて、しっかりと広報活動や外に向けても情報発信を行っていくことが大事です。
- ・鳥獣害対策について、一自治体で対策は難しいので、こうした問題こそ広域で取り組んでいく必要が大いにあると思われる。
- ・「圏域のマネジメント能力の強化」、職員や地域の交流につながるマネジメントを行える人物の育成には、いろいろな経験が本当に重要になってきます。こうした研修事業は、目的をはっきりさせたうえで実施することが大切です。
- ・「費用対効果の問題」、全体の費用やお金の流れを明らかにして、事業順位など必要な事業の棚卸作業につながる検証も必要になってきている時期です。